



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 大林道路株式会社

上場取引所 東

コード番号 1896 URL <http://www.obayashi-road.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 桑原 豊

TEL 03-3618-6500

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	30,849	△20.0	△772	—	△790	—	△459	—
23年3月期第2四半期	38,550	25.9	△432	—	△466	—	△315	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △463百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △342百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△9.86	—
23年3月期第2四半期	△6.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	56,229	23,972	42.6	514.86
23年3月期	66,106	24,576	37.2	527.80

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 23,972百万円 23年3月期 24,576百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,300	△2.7	890	9.2	880	11.9	340	27.4	7.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	46,818,807 株	23年3月期	46,818,807 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	257,570 株	23年3月期	254,758 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	46,562,944 株	23年3月期2Q	46,571,366 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△2.8	850	12.2	830	16.0	300	38.7	6.44

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
3. (参考) 個別財務諸表 .....	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表 .....	10
(2) (参考) 四半期損益計算書 .....	12
4. 補足情報 .....	13
(1) 個別業績の概況 .....	13
(2) 連結受注・売上実績 .....	13
(3) 個別受注・売上実績 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みからの持ち直しに伴い回復基調にあるものの、電力供給の制約に加え、米国景気の先行きや EU の金融に対する懸念を背景に急激な円高・株安となるなど、下振れリスクを抱えた不透明な状況で推移しました。

道路建設業界におきましては、民間設備投資は低調に推移し、公共投資は東日本大震災の復興事業が見込まれたものの、補正予算の成立・執行の遅れに加え、震災の影響による公共工事の一部保留が発生するなど、依然として厳しい受注環境にありました。

このような状況の下で、当社グループは工事受注量及び製品販売量の確保に努めましたが、当第 2 四半期連結累計期間の受注高は 384 億 2 千 3 百万円（前年同四半期比 2.6% 増）、売上高は 308 億 4 千 9 百万円（前年同四半期比 20.0% 減）となりました。

利益につきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益は 14 億 7 千 5 百万円（前年同四半期比 23.7% 減）、経常損失は 7 億 9 千万円（前年同四半期は経常損失 4 億 6 千 6 百万円）となりました。

四半期純損失につきましては、4 億 5 千 9 百万円（前年同四半期は四半期純損失 3 億 1 千 5 百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の資産合計は、工事の完成引渡し及び施工が第 4 四半期連結会計期間に集中するといった季節の変動要因により売上高が低調な時期であることと売上債権の回収が順調に推移したことにより、「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ 98 億 7 千 7 百万円減の 562 億 2 千 9 百万円となりました。

当第 2 四半期連結会計期間末の負債合計は、工事の完成引渡し及び施工が第 4 四半期連結会計期間に集中するといった季節の変動要因により施工が低調な時期であるため、「支払手形・工事未払金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ 92 億 7 千 3 百万円減の 322 億 5 千 6 百万円となりました。

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度の利益処分に加え四半期純損失を計上したことから、前連結会計年度末に比べ 6 億 3 百万円減の 239 億 7 千 2 百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に売上債権の減少により営業活動によるキャッシュ・フローが増加した結果、期首と比較して 12 億 5 千 3 百万円増加し、65 億 9 千 1 百万円（前年同四半期比 45.0% 減）となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に売上債権が減少したため、25 億 1 千 9 百万円のプラス（前年同四半期は 4 億 5 千 8 百万円のマイナス）となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

建設機械の購入及びアスファルト混合所設備の更新等の固定資産の取得に伴う支出により、10 億 7 千万円のマイナス（前年同四半期は 3 億 3 千 8 百万円のマイナス）となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に配当金の支払いにより、1 億 9 千 3 百万円のマイナス（前年同四半期は 3 億 8 千 7 百万円のマイナス）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 23 年 5 月 12 日に公表しました「平成 23 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における業績予想の数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,338	6,591
受取手形・完成工事未収入金等	32,894	21,012
有価証券	20	—
販売用不動産	0	0
未成工事支出金	2,412	4,087
材料貯蔵品	486	448
その他	2,834	2,269
貸倒引当金	△65	△41
流動資産合計	43,922	34,367
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,713	12,713
その他(純額)	5,967	5,679
有形固定資産合計	18,680	18,393
無形固定資産	227	213
投資その他の資産		
その他	3,707	3,585
貸倒引当金	△431	△331
投資その他の資産合計	3,276	3,254
固定資産合計	22,184	21,861
資産合計	66,106	56,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	28,443	18,646
短期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	116	100
未成工事受入金	899	2,032
完成工事補償引当金	108	73
工事損失引当金	272	196
その他	3,221	2,738
流動負債合計	35,062	25,787
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,993	1,993
退職給付引当金	4,255	4,278
その他	219	196
固定負債合計	6,467	6,468
負債合計	41,530	32,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	12,287	11,689
自己株式	△52	△53
株主資本合計	24,625	24,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	45
土地再評価差額金	△98	△98
その他の包括利益累計額合計	△48	△53
純資産合計	24,576	23,972
負債純資産合計	66,106	56,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	38,550	30,849
売上原価	36,616	29,374
売上総利益	1,934	1,475
販売費及び一般管理費	2,366	2,247
営業損失(△)	△432	△772
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	3	3
受取手数料	4	4
デリバティブ評価益	11	8
その他	4	2
営業外収益合計	28	21
営業外費用		
支払利息	38	16
持分法による投資損失	15	16
その他	9	7
営業外費用合計	63	40
経常損失(△)	△466	△790
特別利益		
固定資産売却益	3	1
負ののれん発生益	—	78
貸倒引当金戻入額	5	—
その他	0	24
特別利益合計	9	103
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	9	20
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
その他	5	3
特別損失合計	27	24
税金等調整前四半期純損失(△)	△485	△711
法人税、住民税及び事業税	47	30
法人税等調整額	△217	△282
法人税等合計	△170	△251
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△315	△459
四半期純損失(△)	△315	△459



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△315	△459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△4
その他の包括利益合計	△26	△4
四半期包括利益	△342	△463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△342	△463

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△485	△711
減価償却費	642	773
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29	△124
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	103	23
受取利息及び受取配当金	△8	△5
支払利息	38	16
持分法による投資損益 (△は益)	15	16
売上債権の増減額 (△は増加)	11,691	12,312
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	3,567	△1,663
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,751	△9,752
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△3,149	1,132
負ののれん発生益	—	△78
その他	△1,085	622
小計	548	2,562
利息及び配当金の受取額	15	15
利息の支払額	△38	△16
法人税等の支払額	△984	△42
営業活動によるキャッシュ・フロー	△458	2,519
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△538	△1,271
有形固定資産の売却による収入	168	4
投資有価証券の取得による支出	—	△20
投資有価証券の償還による収入	—	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	84
その他	31	112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338	△1,070
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△107	△53
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△279	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△387	△193
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,186	1,253
現金及び現金同等物の期首残高	13,179	5,338
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,992	6,591

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製造・販売 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	32,314	6,236	38,550	—	38,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,458	2,458	△2,458	—
計	32,314	8,694	41,008	△2,458	38,550
セグメント利益又は損失(△)	△115	720	604	△1,036	△432

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,036百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,036百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製造・販売 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	24,653	6,195	30,849	—	30,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,352	2,352	△2,352	—
計	24,653	8,548	33,202	△2,352	30,849
セグメント利益又は損失(△)	△165	431	265	△1,038	△772

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,038百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,038百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「建設事業」セグメントにおいて、持分法適用関連会社であったフォレストコンサルタント株の株式を追加取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては78百万円であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 3. (参考) 個別財務諸表

## (1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前 事 業 年 度 (平成23年3月31日)	当 第 2 四 半 期 会 計 期 間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,054	6,269
受取手形	2,830	2,657
完成工事未収入金	26,767	16,177
売掛金	3,249	2,150
有価証券	20	—
販売用不動産	0	0
未成工事支出金	2,414	4,049
材料貯蔵品	486	448
その他	2,802	2,267
貸倒引当金	△65	△41
流動資産合計	43,559	33,978
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,713	12,713
その他(純額)	5,922	5,648
有形固定資産合計	18,635	18,361
無形固定資産	227	212
投資その他の資産		
その他	3,670	3,610
貸倒引当金	△431	△331
投資その他の資産合計	3,238	3,279
固定資産合計	22,101	21,853
資産合計	65,660	55,832

(単位:百万円)

	前 事 業 年 度 (平成23年3月31日)	当 第 2 四 半 期 会 計 期 間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	12,724	7,744
工事未払金	11,625	8,124
買掛金	3,979	2,752
短期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	107	97
未成工事受入金	899	2,032
完成工事補償引当金	108	73
工事損失引当金	272	196
その他	3,216	2,731
流動負債合計	34,934	25,754
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,993	1,993
退職給付引当金	4,255	4,278
環境対策引当金	7	7
その他	211	189
固定負債合計	6,467	6,468
負債合計	41,402	32,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	11,969	11,325
自己株式	△52	△53
株主資本合計	24,306	23,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49	45
土地再評価差額金	△98	△98
評価・換算差額等合計	△48	△53
純資産合計	24,258	23,608
負債純資産合計	65,660	55,832

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (2) (参考) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高		
完成工事高	32,290	24,643
製品売上高	6,236	6,195
売上高合計	38,526	30,838
売上原価		
完成工事原価	31,283	23,915
製品売上原価	5,359	5,471
売上原価合計	36,643	29,387
売上総利益		
完成工事総利益	1,007	727
製品売上総利益	876	723
売上総利益合計	1,883	1,451
販売費及び一般管理費	2,335	2,218
営業損失(△)	△452	△767
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	10	14
デリバティブ評価益	11	8
その他	9	7
営業外収益合計	35	31
営業外費用		
支払利息	38	16
その他	9	7
営業外費用合計	47	23
経常損失(△)	△464	△759
特別利益		
固定資産売却益	3	1
貸倒引当金戻入額	5	—
固定資産受贈益	—	6
移転補償金	—	18
その他	0	0
特別利益合計	9	25
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	9	20
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
その他	5	3
特別損失合計	27	24
税引前四半期純損失(△)	△482	△757
法人税、住民税及び事業税	39	30
法人税等調整額	△217	△283
法人税等合計	△177	△253
四半期純損失(△)	△304	△504

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 4. 補足情報

## (1) 個別業績の概況

平成24年3月期第2四半期の個別業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

## ① 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	30,838	△20.0	△767	—	△759	—	△504	—
23年3月期第2四半期	38,526	26.2	△452	—	△464	—	△304	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△10.84	—
23年3月期第2四半期	△6.55	—

## ② 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	55,832	23,608	42.3	507.05
23年3月期	65,660	24,258	36.9	520.96

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 23,608百万円 23年3月期 24,258百万円

(注) 上記の個別業績は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (2) 連結受注・売上実績

## ① 受注実績

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前連結会計年度
建設事業(百万円)	31,211	32,227	61,575
製造・販売他事業(百万円)	6,236	6,195	14,480
合計(百万円)	37,447	38,423	76,056

## ② 売上実績

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前連結会計年度
建設事業(百万円)	32,314	24,653	73,161
製造・販売他事業(百万円)	6,236	6,195	14,480
合計(百万円)	38,550	30,849	87,641

(注) 当連結企業集団では生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載していない。

## (3) 個別受注・売上実績

## ① 平成24年3月期第2四半期の個別受注実績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	受注高	
平成24年3月期第2四半期累計期間	38,390百万円	2.7%
平成23年3月期第2四半期累計期間	37,368百万円	△3.6%

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率



## ② 発注者別

(単位：百万円)

		前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		比較増減(△)		前事業年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比	金額	構成比
当期受注高	国内官公庁	11,201	30.0	9,548	24.9	△1,652	△14.7	21,487	28.3
	国内民間	19,931	53.3	22,646	59.0	2,714	13.6	39,931	52.6
	海外	—	—	—	—	—	—	—	—
	工事部門計	31,132	83.3	32,194	83.9	1,062	3.4	61,419	80.9
	製品部門	6,236	16.7	6,195	16.1	△40	△0.7	14,468	19.1
	合計	37,368	100	38,390	100	1,021	2.7	75,888	100
当期売上高	国内官公庁	13,335	34.6	7,056	22.9	△6,278	△47.1	29,239	33.4
	国内民間	18,955	49.2	17,586	57.0	△1,368	△7.2	43,736	50.0
	海外	—	—	—	—	—	—	—	—
	工事部門計	32,290	83.8	24,643	79.9	△7,647	△23.7	72,976	83.4
	製品部門	6,236	16.2	6,195	20.1	△40	△0.7	14,468	16.6
	合計	38,526	100	30,838	100	△7,688	△20.0	87,445	100
次期繰越高	国内官公庁	19,196	54.9	16,071	50.0	△3,125	△16.3	13,578	55.2
	国内民間	15,793	45.1	16,070	50.0	277	1.8	11,011	44.8
	海外	—	—	—	—	—	—	—	—
	工事部門計	34,989	100	32,142	100	△2,847	△8.1	24,590	100
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	34,989	100	32,142	100	△2,847	△8.1	24,590	100

## ③ 工種別

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間		当第2四半期 累計期間		比較増減(△)		前事業年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比	金額	構成比
当期受注高	アスファルト舗装	19,498	52.2	20,515	53.4	1,017	5.2	40,497	53.4
	セメントコンクリート舗装	1,288	3.5	850	2.2	△437	△34.0	1,764	2.3
	土木工事	9,769	26.1	10,732	28.0	962	9.9	18,526	24.4
	建築工事	577	1.5	96	0.3	△480	△83.2	631	0.8
	工事部門計	31,132	83.3	32,194	83.9	1,062	3.4	61,419	80.9
	製品部門	6,236	16.7	6,195	16.1	△40	△0.7	14,468	19.1
合計	37,368	100	38,390	100	1,021	2.7	75,888	100	
当期売上高	アスファルト舗装	22,565	58.6	15,881	51.5	△6,684	△29.6	48,411	55.3
	セメントコンクリート舗装	1,586	4.1	313	1.0	△1,272	△80.2	2,770	3.2
	土木工事	8,053	20.9	8,357	27.1	303	3.8	21,180	24.2
	建築工事	85	0.2	90	0.3	5	6.1	614	0.7
	工事部門計	32,290	83.8	24,643	79.9	△7,647	△23.7	72,976	83.4
	製品部門	6,236	16.2	6,195	20.1	△40	△0.7	14,468	16.6
合計	38,526	100	30,838	100	△7,688	△20.0	87,445	100	
次期繰越高	アスファルト舗装	23,562	67.3	23,349	72.6	△212	△0.9	18,715	76.1
	セメントコンクリート舗装	932	2.7	761	2.4	△171	△18.4	224	0.9
	土木工事	10,003	28.6	8,008	24.9	△1,994	△19.9	5,633	22.9
	建築工事	491	1.4	23	0.1	△468	△95.3	17	0.1
	工事部門計	34,989	100	32,142	100	△2,847	△8.1	24,590	100
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	34,989	100	32,142	100	△2,847	△8.1	24,590	100	